

あなたとともに

友田たもつ

県政レポート(Vol.25)

Vol.2518-3月

編集・発行

友田たもつ事務所
(〒750-0014)
下関市岬之町8番16号コーエービル2F
TEL.083-231-8080
FAX.083-233-9250

●メールアドレス●

tomodatamotu@viola.ocn.ne.jp



下関に限らず、前田市長との連携も進められ、国と県と市の深い連携を築くことが出来たと思っています。

いよいよ来年は統一地方選挙の年です。自分自身の選挙でもありますが、幹事長として、しっかりと前を見据えて自民党の全体を統括して運営をしていく所存であります。

どうか一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年9月定例議会において代表質問 村岡知事との直球問答!!

1 知事の今後の県づくり・県政運営にける決意について



知事は就任後、「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、精力的に取り組まれ、多くの施策が芽吹き、花開いてきた。

一方で、基地問題など国策に関連する困難な課題に対しても、揺ぎなく責任ある対応をしてこられた。

今、我が国が人口減少、少子・高齢化による国力低下という難局に直面する中、安倍総理は、地方の活力なくして日本の活力なし、国と地方が一体となって、成長と分配の好循環を加速させると述べられている。

知事には、地方創生の実現は山口県からという強い信念で、引き続き、新しい時代に大きく飛躍するための県づくりの歩みを着実に前に進めていただきたいと思う。

そこで、知事の今後の県づくり・県政運営にける思いと、来年の知事選挙への再出馬の決意について伺う。



平成26年の知事就任後、新たな県政運営の指針となるチャレンジプランを定め、本県が直面する諸課題を「突破」し、「活力みなぎる山口県」を実現するため、全力で取り組んでまいりました。

人口減少問題を県政の最重要課題と位置付けて、人口流出を食い止め、少子化の流れに歯止めをかけるために、国の地方創生の取組とも積極的に呼応し、産業、人材、そして地域の活力創出に向けた挑戦を重ねてまいりました。

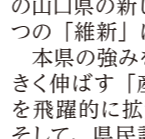
岩国基地問題にも真正面から向き合い、基地周辺住民の安全で平穏な生活の確保と地域振興に取り組んできたところで、しかしながら、今後の県政には、多くの困難な課題が残されています。将来にわたって元気な山口県を創っていくためには、これまでの成果の上に立ち、未来への確かな道筋を描き、力強く前に進めていくことが必要です。

さらには、安倍内閣のもと、国の政策としっかりと連携し、地方からの提案等も行いながら、国と一体となって、地方創生の実現を果たしていかなければなりません。

来年の「明治150年」を契機に、維新をリードした、この山口県の新しい150年に向けて、時代を切り拓く本県の3つの「維新」に挑戦していく必要があると考えています。

本県の強みを最大限に活かし、活力の源となる産業力を大きく伸ばす「産業維新」、潜在力を活かし、人やモノの流れを飛躍的に拡大して、山口県を活性化するための「大交流維新」、そして、県民誰もが、希望を持って、いつまでも安心して暮らし続けられる基盤を築く「生活維新」への挑戦です。

山口県の未来を拓くこの3つの「維新」を、自ら先頭に立ち、県民の皆様とともに成し遂げていきたい、この思いを強く、私は、来年2月の知事選挙に立候補する決意をいたしました。活力に満ち、将来に希望を持って暮らせる山口県の実現に向けて、全身全霊をかけて取り組んでまいります。



県政の最重要課題である人口減少に歯止めをかけ、「活力みなぎる山口県」を実現するためには、新たな雇用の創出につながる産業力の強化を図り、地域経済を活性化することが極めて重要です。

具体的には、医療関連や環境・エネルギーなどの成長分野への新規参入や、地域資源や特性の一層の活用を促進していくことが重要であり、こうした取り組みにより、高い付加価値を生み、経済的波及効果も期待できる。

山口県の元気を創出していくためには、国の動きとも的確に連携し、持続可能性の高い産業の創出など、地域経済の成長発展に向けた基盤を強化し、地域経済における「稼ぐ力」の好循環を実現していくことが重要である。

そこで、県では、今後、地域経済の活性化に向けて、どのように取り組むのか、所見を伺う。

2 山口ゆめ花博について



先般公表された「山口ゆめ花博」の実施計画中間案によれば、随所に個性的な体験型イベントやアトラクションを配する計画となっており、目標来場者数を50万人以上としている。また、日本一に挑戦する遊具の設置や本格的な夜間開催など、従来の「鑑賞する」フェアに新たな「体験・体感する」要素を加えた提案がなされている。

来場者数の目標の達成はもとより、未来に向けた発想での山口県らしさを内外へしっかりとアピールすることが重要であり、魅力を一層高め、より多くの方に興味を持っていただけるよう、開催準備に取り組んでいく必要がある。

開幕まで残り1年を切る中、明治150年プロジェクトの中核イベントである山口ゆめ花博を成功させるため、今後どのように取り組んでいくのか、所見を伺う。



花博の実施計画では、「ゆめの未来公園はじまる」をキャッチフレーズに、会場を1,000万の山口の花で彩るとともに、日本一長い竹のコースター等の設置や、山や海の外遊び体験プログラム、都市緑化フェア初の本格的なナイトプログラムなど、博覧会的な展開を図ることとしています。

『役』は、『人』を造ると良く言われます。

選暦を過ぎて、人間としてのひとつの区切りを終えて、幹事長という大役にも應ずることなく、目前の仕事を粛々とこなしていく。同年代には、無事勤めを終えて、悠々自適に暮らしている者もいる中、この男の行動力とエネルギーは、何処から生まれているのかと、首をひねることしばしばである。その答えは多分、『政治家の性』であろうと思われる。来年は、勝負の年を迎え、七度目の県議会への挑戦となる。政治家としての『夢』の実現のために、裏方としてできる限りの準備と戦う体制を構築しなければと考えている今日この頃です。しかしながら、皆様方のお力添えなしでは、何もできません。どうぞよろしく願いいたします。

子どもたちが体験する「子どもたちの育ちを支える公園」や、民間の協力を得ての魅力的なサービス提供など、新たな都市公園のあり方も提案したいと考えています。

今後は、来場者数目標の達成に向け、山口ゆめ花博の魅力をしっかりとアピールしていく必要があると考えています。旅行会社への積極的な情報提供を行い、観光施策とも連携しながら、県内外からの旅行商品の造成を働きかけるなど、誘客対策を強化してまいります。

山口ゆめ花博のもう一つの特色である、県民参加による「みんなでつくる花博」の取組を進め、魅力ある企画の充実につなげ、アピール度をより高めたいと考えています。

山口ゆめ花博が明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベントとして未来に残す、大きな財産にしたいと考えています。

3 地域経済の活性化について



我が国では、現在、人口減少と経済の縮小を克服し、成長力の確保を目指す地方創生に取り組んでおり、本県も、「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、実効性のある地方創生の取り組みを進めている。

国は、地方の「平均所得の向上」によるローカル・アペノミクスの推進を掲げ、地域が域外から「稼ぐ力」を強化し、地域の持続的な成長を実現する観点から、諸施策に取り組むこととしている。具体的には、「地域未来投資促進法」に基づき、地域経済を牽引する事業を促進し、地域の中核企業を軸とした地域経済の発展を目指すものである。

本県においても、医療関連や環境・エネルギーなどの成長分野への新規参入や、地域資源や特性の一層の活用を促進していくことが重要であり、こうした取り組みにより、高い付加価値を生み、経済的波及効果も期待できる。

山口県の元気を創出していくためには、国の動きとも的確に連携し、持続可能性の高い産業の創出など、地域経済の成長発展に向けた基盤を強化し、地域経済における「稼ぐ力」の好循環を実現していくことが重要である。

そこで、県では、今後、地域経済の活性化に向けて、どのように取り組むのか、所見を伺う。



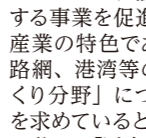
県政の最重要課題である人口減少に歯止めをかけ、「活力みなぎる山口県」を実現するためには、新たな雇用の創出につながる産業力の強化を図り、地域経済を活性化することが極めて重要です。

具体的には、医療関連や環境・エネルギーなどの成長分野への新規参入や、地域資源や特性の一層の活用を促進していくことが重要であり、こうした取り組みにより、高い付加価値を生み、経済的波及効果も期待できる。

山口県の元気を創出していくためには、国の動きとも的確に連携し、持続可能性の高い産業の創出など、地域経済の成長発展に向けた基盤を強化し、地域経済における「稼ぐ力」の好循環を実現していくことが重要である。

そこで、県では、今後、地域経済の活性化に向けて、どのように取り組むのか、所見を伺う。

4 障害者が活躍できる地域社会の実現について



障害のある方が住み慣れた地域で、自立し、安心して生活できることは、本人や家族にとって大きな希望であり、各地域では、そのため様々な取組がなされている。

昨年4月に障害者差別解消法が施行され、社会的障壁を除去するための合理的配慮が規定されたが、まだ社会の理解が進んでいるとは言えないのではないかと、県はチャレンジプランに「障害者が活躍できる地域社会の実現」を掲げ、障害者の地域生活や就労への支援、障害者スポーツの振興などに取り組んでいる。一昨年から「あいさポート運動」に取り組み、1万人を超える県民が「あいさポーター」になっている。

国においては、「地域共生社会」の実現に向けた動きが活発化しているの動きにも呼応しながら、県においては、効果的な取組を展開していく必要があると考える。

障害がある方が生き生きと活躍できる地域社会の実現に向け、県は、県民の理解促進や障害者の地域生活への支援などに今後どのように取り組まれるのか、所見を伺う。



まず、県民の理解促進については、より多くの県民に「あいさポート運動」への参加を呼び掛けるとともに、一層理解が深まるよう、車いすによる介助体験など、実践的な内容を取り入れながら、県民運動として積極的に取り組んでまいります。

地域生活への支援については、生活の場として重要な役割を果たすグループホームの計画的な整備をはじめ、各市町における相談支援事業所間の連絡調整等を行う基幹相談支援センターの整備を促進します。

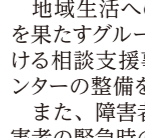
また、障害者の重度化・高齢化を見据え、市町に対し、障害者の緊急時の受け入れや、地域の連携体制づくりのコーディネート等を行う地域生活支援拠点の整備を、積極的に働きかけてまいります。

まず、県民の理解促進については、より多くの県民に「あいさポート運動」への参加を呼び掛けるとともに、一層理解が深まるよう、車いすによる介助体験など、実践的な内容を取り入れながら、県民運動として積極的に取り組んでまいります。

地域生活への支援については、生活の場として重要な役割を果たすグループホームの計画的な整備をはじめ、各市町における相談支援事業所間の連絡調整等を行う基幹相談支援センターの整備を促進します。

また、障害者の重度化・高齢化を見据え、市町に対し、障害者の緊急時の受け入れや、地域の連携体制づくりのコーディネート等を行う地域生活支援拠点の整備を、積極的に働きかけてまいります。

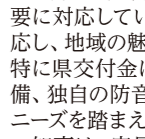
5 米軍岩国基地問題について



8月に、艦載機の移駐が開始された。我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、移駐が完了すると、岩国基地は、配備機数で極大規模の基地となることから、その役割はますます大きくなり、また、基地周辺住民が抱え続けることとなる騒音や事故、米兵犯罪等に対する不安を解消することが急務である。

一方、地元自治体は、米軍人等の増加により、新たな財政需要に対応していくことが求められ、移駐による新たな負担に対応し、地域の魅力ある発展を図るためには、県の役割も重要で、特に県交付金については、空港の利用促進や県立武道館の整備、独自の防音対策などへの要望があると伺っており、地元のニーズを踏まえ有効に活用することが望まれます。

知事は、空母艦載機の移駐が開始されたことを受けて、改めて、基地問題にどのように取り組まれるのか、また、広域自治体として、地元の負担軽減に対し、県交付金をどのように活用されるか、御所見を伺う。



移駐完了後、極大規模の基地となることを踏まえれば、国の外交・防衛政策を尊重し、これに協力する一方、県民の安全で平穏な生活を確保する立場から、これまで以上に、国に対して言うべきことは言うという姿勢で対応する必要があると考えています。

具体的には、国と地方自治体の権限や役割、飛行訓練の実態を踏まえ、県民によりわかりやすく表現を改め、「新たな部隊の移駐等により、航空機騒音や安全性等の面で基地周辺住民の生活環境が現状より悪化するとは認められない」、「NLPなど、激しい騒音被害をもたらす離着陸訓練の実施は認められない」、「地元の意向を尊重する」を三つの基本姿勢として、今後、基地問題に対処したいと考えています。

地元が抱え続けることとなる騒音や事故等への不安、社会基盤の整備等の新たな財政需要への対応も重要な課題であり、不安解消を図るための安心・安全対策や負担と貢献に見合う地域振興策の実施について、県交付金を活用し、県の広域的な役割を果たしていく必要があると考えています。

今後、国の拡充措置が、地元の実情に応じた施策の充実に資するものとなるよう、引き続き国の検討状況を注視しながら、国と協議・調整をしっかりと進めてまいります。

その上で、具体的な事業の実施については、安心・安全対策や、産業振興、観光振興、スポーツ振興などに県交付金を積極的に活用し、岩国基地周辺地域の活性化・振興に全力で取り組んでまいります。

ごあいさつ

山口県議会議員 山口県支部連合会幹事長 友田たもつ

もっと豊かな下関のために 友田たもつ県政活動報告



明日の下関を語る女性の会



下関市聴覚障害者福祉協会



安倍総理新春の集い



自民党山口県連政経セミナー



県政報告会吉田地区



山口県議会観光振興議員連盟



山口県盲人福祉大会



有建会



山口県日韓親善協会連合会総会



県政報告会王喜地区



王喜地区敬老会



小月長寿会総会



清末地区敬老会



清末地区新年互礼会



岩国基地問題議員連盟連絡協議会

地元の皆様と共に



あんこう供養祭



きくがわ苑夏まつり



清末夏まつり



勝谷新町夏まつり



農業まつり



吉田川まつり



王喜夏まつり



王喜ひばり会

県内外視察



警察大学校



警備部機動隊



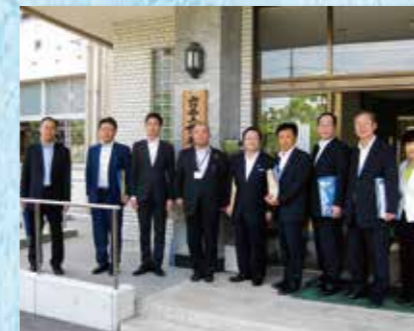
国際情報高校



三重県伊勢神宮



山口県立大学



山口県立防府商工



新潟県立長岡高等学校



新潟市歴史博物館



農林現地視察・安岡



農林現地視察・王喜



農林現地視察・小月



農林現地視察・清末